

[様式2]

提案書	
技術分野	⑤地下水流入抑制の敷地管理（遮水壁、フェーシング等）
提案件名	フェーシングのために伐採した樹木の減容化
提案者	清水建設株式会社
<p>1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）</p> <p>構内の北側には多くの樹木が残っており、この範囲への降雨は樹木を伝わって地中に浸透しており、樹木を伐採し地表面を舗装してフェーシングすることで、建屋に流入する地下水の低減につながると考えられるが、伐採木置場が不足しているのが現状である。</p> <p>そこで、ここでは、フェーシング目的で伐採した樹木の減容化と構外に搬出できた場合の有効利用について提案する。</p> <p>伐採木については、以下の処理を施して、空間選良の低下、伐採木の減容化に加えて、伐採木の有効利用が図れる。</p> <p>① 伐採木の除染：線量の低下 伐採木を減容化のためにチップ化する前に除染または樹皮を除去する。</p> <p>② 伐採木のチップ化：伐採木の減容化 伐採木は専用の装置を用いてチップ化することにより、体積を 1/3 程度に減容化できる。</p> <p>③ チップの有効利用（構外に搬出できる場合） チップ化した伐採木は、以下の用途に転用することにより、有効活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濁水防止フィルター材 チップ材をメッシュ状のネットに充てんして濁水防止材として活用する。 ・のり面緑化資材 種子吹付との併用により、構外へののり面緑化に活用する。 ・ウッドチップ樹脂舗装 チップ材の上に樹脂を散布し、転圧することで水はけのよい舗装となる。 ・ボードの原料 チップ材に樹脂を混ぜ合わせてボード材等とする。 <p>なお、樹木を伐採することは、樹木への落雷等による火災の防止にも寄与するものである。</p> <p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む） 伐採材のチップ化による有効活用は、一般的な手法として多くの事例がある。 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 チップ化した樹木の構外搬出の検討。木質バイオマスへの展開が望まれる。 ・その他（特許等を保有している場合の参照情報等） 	